

# 気仙地区セミナーを開催

◇テーマ「いま、子どもの命を支える家族の絆」

## —育もう！地域に生きるみんなの力で—

■期日 平成19年10月20日(土)

■会場 大船渡市立第一中学校

### 基調講演

#### ◆講師

松本 源蔵 先生(岩手県芸術文化協会会長)

#### ◆演題

「子育て わたしの場合」

#### ◆パネルディスカッション

#### ◆コーディネーター

河辺 邦博氏(IBC岩手放送報道局長兼報道部長)

#### ◆パネリスト

佐々木悦子氏(盛岡市教育委員会生涯学習スポーツ課社会教育指導員)



生内 雄二氏(前岩手県PTA連合会副会長)

菅原 実氏(元大船渡市立第一中学校クラブ育成会長)

新沼 律子氏(元大船渡市立日頃市小学校PTA会長)

平成十九年十月二十日、大船渡市立第一中学校を会場として「気仙地区家庭教育セミナー」が開催された。

大船渡農高の太鼓部男女三十六名による「大農太鼓」で開幕したが、その気迫に満ちた太鼓の響きと演奏する生徒の姿から滲み出る美しさに心が揺り動かされた。

開会行事では、気仙地区PTA連絡協議会今野秀治会長から「当地区で初めて開催されるセミナー。意義のあるセミナーであって欲しい」との挨拶があった。基調講演は、盛岡地区と同じ内容であったが、前回同様「弄花(はなもよほ)香満衣(かみんぎ)、親の在り様を会員一同が改めて学ぶことができた。続いて行われたパネルデ

ィスカッションでも、前回同様肩肘の張らない率直な意見が四人のパネリストから述べられ、今回もコーディネーターの巧みなりードによってテーマに則したディスカッションが展開された。盛り上がりを見せた。その中で、お祭りや体験学習の取り組みを通しての今の若者や子ども達の由々しき現状や実態に触れ、その原因は大人の責任にあるとする意見が出された。子どもが悪いのではなく、大人の影響によるというものである。「今日は大成功だった」という閉会の言葉で気仙セミナーの幕を閉じた。

気仙地区の会長、事務局長を始め、参加者三百二十を超えた地区会員の熱心な取り組みに感謝したい。



アトラクション「大農太鼓」



### 気仙地区セミナーに参加して

気仙地区母親委員会委員長 熊谷 好子

去る十月二十日、大船渡第一中学校を会場に、気仙地区家庭教育セミナーが開催されました。前日までの雨も止み、天候にも恵まれ、三百人を超える参加者が集まり、大成功に終わりました。私自身、このような行事に参加するのは初めてで、しかも主催者側の参加となり、不安やら心配やらで、当日を迎えることになりました。

今回のセミナーでは、地域とのかかわりということでのテーマを設け、たくさんのお話を聞かせていただきました。

基調講演での松本源蔵先生のお話では、子育ては自立させることができたと言えることが大切であり、子どもに教えられることも多いこと、慎重に、謙虚に、明朗に、を心掛けてきたことなど、説得力のあるものでした。

パネルディスカッションでは、パネリストの方々が、仕事上などでかかわる子ど

も達の姿、理想のかかわり方などについて、様々な視点から話されました。学校で、家庭で、社会の中で、子ども達のかかわりから普段感じていることが話され、大変参考になりました。私は仕事上、いつもコミュニケーションの難しさを痛感します。人とのかわりには欠かせないものであり、家族においても地域の人においても同様です。何事においても、コミュニケーションが始まり、そこから関係が築かれていきます。よい関係になるのもうまくいなくなるのも自分次第です。コミュニケーションを上手にとれる方法を身に付け、社会の一員としてかわり続けていくことが、とても大切だと思います。

最後に、今回のセミナー開催に当たり、たくさんの方々に尽力いただき、ありがとうございました。